季節外れの流感

罹らぬよう注意を

栄養と睡眠を十分に

季節はずれの感冒が猛威をふるつています。各地ではよい子たちが休校するという状態さえ出ています。この流行性感冒はどういうものでしょうか、まずよく知ることが大切です。怖がつてばかりいても防げません。そこでこの流感について天領本院の菅原、藤瀬の両先生にお話をしてもらいました。

中国が発生地？

感冒といつても、いわゆる普通のかぜひきと流感（流行性感冒）とは一応分けて考えています。また流感でも一地方や一国ばかりでなく、全世界を席捲するような大流行もあります。前者はわれわれが近年経験している流感であり、後者は約四十年まえ世界的に流行して約二千万の生命を奪つたスペインかぜのようなものであります。

感冒にかかりやすい時期は寒いとき、あるいは寒さに向うときなど気候の変り目が主であることは皆承知の通りであります。流感は勢いを得たときは、こんどのように五月の終りから夏のはじめにかけて、緑の風薫る好季節でもようしやなく人体を襲うことが分つてりつ然とならざるを得ません。

原因はビールス

こんどの流行は源が中共らしいといわれています。この流感の原因であるビールスをA東京57型とよぶそうで、香港で確められたA型ビールスと一致するものと分ければ、アジアにおける流感は同じものだと決まるそうであります。六月十五日現在の全国学童の罹患者は約五十万人とありました。大人についての数ははつきりいたしませんが、東京で官庁や会社事務所などで欠勤者が増加しているそうですから、大人の世界にも入りこんでいるのでしょう。大牟田市の小学校で休校や学級の閉鎖が行われているそうですが、大人では例年に比較して感冒の患者が少し多いなと思う程度であります。

症状も高熱や頭痛、腰痛、全身けん怠感、食よく不振それから咳嗽カツ痰などの流感に特有のひどいものには殆ど接しません。症状で大人と小児と違う点は肺炎症状を起すことが少い。嘔気、嘔吐などがなかつたり、またあつても軽いことです。しかし、この流感でなくでも夏のかぜはいやなものです。

治療よりも豫防

病気は治療よりも予防が第一です南極大陸にはビールスがいなくて感冒など無いそうですが、感染をおそれてまさか南極大陸や、その他の別天地に転地するわけにも行きません。

どの伝染病でも同様に、要は罹らないように集団生活に注意し、個人衛生を守ることが要諦でしょう。それには夜ふかしをしたり、暴飲暴食をしたり、あるいは過労に陥いらぬよう注意が肝心です。予防ワクチンも大流行のときには間に合いません。

こんどの流行は水爆実験による放射能の影響で、A型ビールスがとつぜん変異を起したため、人体がそれにたいして防禦処置ができていないところで大流行を来たしつつあるのだとの甚だウガツタみかたもあるようです。そうなれば、病原微生物と人間の闘いは永久に続くことになります或はそれが本然の姿かも知れません。

罹つたら休養を

しかし、われわれはラドンのような映画物語としてでなく現実の問題として、それをいかに克服して行くかということが大事でしょう。まず、感冒にかからぬよう注意する。もし罹つたらひどくならぬよう休養する。他の家族への感染を防ぐようにつとめる。大流行で医者をテンテコ舞いさしたり、製薬会社を儲けさせたりしないですむよう、結局は自分が損をみないためにわずかの努力を惜しまないで下さい。（内科医長菅原先生談）

伝染は口から

輸入超過で政府は頭を悩ましていますが、こんどの流感もしごく有難くない輸入品です。東南アジアの流感が横浜に上陸して東京にひろがり、ついで全国を股にかけたわけです。

その本尊は、といいますと非常に小さい、電子顕微鏡でないとみえない「インフルエンザビールス」というしろものです。

この目にみえない「ビールス」が患者の口から他人の口、鼻にとびうつり、つぎからつぎへ伝染して行きます。

一年は免疫になる

さいきんでは昭和二十八年一月と今年一月にインフルエンザの流行がありましたが、今年一月殆ど大牟田全市の小中学校が休校をしたことは記憶に新たなところでありましょう。

一度罹患しますと大体一年間は免疫性がありますから、こんど流行しているのは同じA型でも種類の違うビールス（A東京57型）だということで、昨年十二月から一月にかけて罹つた人でも、また罹患する可能性があります。

しかし幸い、少くとも現在のところではこんどの流感は差程「たち」が悪いとも思われません。

発生状況ですが、大牟田でも地区的に二、三休校あるいは学級閉鎖が行われていますが、今年一月に較べると毎日の流感の患者数は本院小児科では三分の一位です。しかし流感期間は大体一カ月位ですから、まだ増えるかも知れません。年令別には年令の少いほど多い結果が出ています。

タチは悪くない

ではどんな症状を呈するか、といいますと人により違いますが、普通感冒と違つて急に高い熱が出て頭痛、咽頭痛を訴え、きつがつて食よくがなくなり、或は嘔吐を催したりします。

一、二日遅れてせきが出てくることが多いようです。

もちろん、非常に軽くすむこともありますし、多少長びくこともあります。熱も二、三日で下ります流感で一番こわいのは肺炎を併発することですが、いまのところその傾向は少いようです。

肺炎を起したときには抗生物質が有効ですが、流感そのものには特効薬はありません。ただ対症療法或は二次感染の防禦というだけで安静が一番大切です。

ウガイと消毒を

最後に予防ですが、予防ワクチンは間に合いませんし、人混みの中に連れて行かないこと、体力をつけること。すなわち疲れ過ぎないように栄養、睡眠に十分気をつけることが大切です。

また、外出から帰つたら必ずウガイをさせて下さい。

もし家族に患者が発生したら、なるべく隔離して、使用した手ぬぐいなどはよく消毒して下さい。

もちろん患者多発の傾向があれば幼稚園、学校は四日ないし一週間休校すべきでしょう。（小児科医長 藤瀬先生談）

囲碁教室 (14)

二子（モク）の頭 (1)

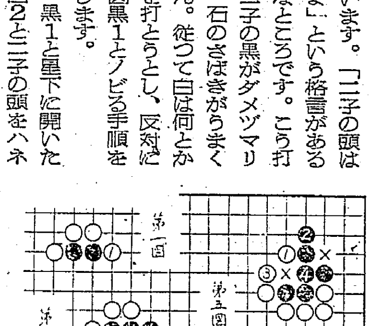
第一図の白1の点を「二子の頭」といいます。「二子の頭は見ずハネよ」という格言がある位に大切なところです。こう打たれると二子の黒がダメヅマリになつて、石のさばきがうまくいきません。従つて白は何とか1のハネを打とうとし、反対に黒は第二図黒1とノビる手順を得ようとします。

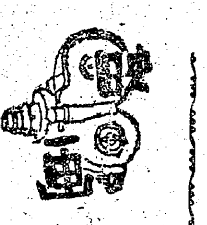
第三図、黒1と星下に開いたりして、白2と二子の頭をハネられるのはよくありません。黒3が形ですが、白から「い」のツケ、「ろ」のノゾキ、「は」の三々打込みなどの手段があつて、大変味の悪いものです。

第四図のように黒3とハネ返せば、白4の二段バネがきびしい手です。これに対して黒は5とノビるよりなく、つぎに白6と押さえられては、黒は外部への発展性を失うことになります

第五図、白が二子の頭をバネたときに、黒が手抜きすると、白1のツケが筋です。黒は2と下る位のもので、白3に対して黒4のツギも、この点に白から打たれると、二子の黒がウツテガエシで取られるのでやむを得ない所です。黒は×印の二カ所にアキ三角ができて、愚形になりました。

（愚形及びダメヅマリの項参照）





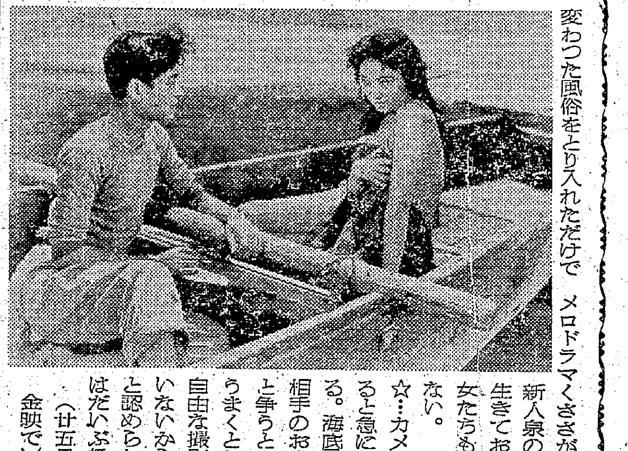
禁男の砂

―うまい水中シーン―

☆…原色の海や砂浜にたくましく働く海人たちの生活を通し愛情の執念を描く近藤啓太郎の芥川賞作品「海人舟」より堀内直監督が映画化した天然色作品。出演は大木実、泉京子、桂木洋子その他。

☆…村いちばんの海女（あま）ナギ（泉京子）は夫に死別してから金だけがたよりだと考えている。若い勇（石浜朗）はりつぱな海人になつたら結婚するというナギの言葉を信じて、むりな仕事を続ける。家出をしていた作治（大木実）が帰つてくる。ナギは作治を好いている。その心を捕えようとして勇は危険をおかす。危うく死にそうになる。作治から、お前のせいだ、死んでしまえといわれて、ナギは海底で死ぬ。

☆…おかの上の話はもう一息というところか、猛烈な労働をする女たちの生活をせいぜい出そうとしているが当然びしびしと打つてくるはずの働く者の迫力が乏しい。



変わつた風俗をとり入れただけでメロドラマくささがぬけていない新人泉のボリユームも生きておらず、他の海女たちも本物の感じがない。

☆…カメラが海にはいると急におもしろくなる。海底の芝居―競争相手のお高（朧麗子）と争うところなど―もうまくとれている。不自由な撮影条件にちがいないからこれは成功と認められる。原作とはだいぶ趣きがちがう

（廿五日より大天地金映で）

編集に四つの柱

支部の連絡員きまる

「みいけ」編集部では行動方針や活動方針にもとづいて、組織づくりをやり直すための活発な宣伝活動を行うことを決定した。

機関紙はただ編集部や執行部がこれでもか、これでもかとつめ込むことでなく、お互組合員や家族が広く討論の場とし、機関紙を通じて、理解と統一行動を起すようにならなくてはならない。

そのためには一部の人々のみが理解し読書することではならないと十分反省し、これまでやらなかつた機関紙づくりのための調査活動も大いにやり、大衆を基盤とする機関紙をつくりあげるために努力する。

その方法として第一に地域、職域に機関紙活動を活発にしてもらい相互間の通信連絡を密にすることによつて地域、職域の機関紙の充実と「みいけ」の発展を図りたい第二に文学サークルとの交流を図り「みいけ」独自の文学運動をひろげ、三池における文学サークルの発展に資したい。

第三に機関紙は読むときだけの必要でなく、己の要求を充すものであるという理念を実現してゆくために、投稿、寄稿を尊重し、質問や意見については十分親切をつくす。

第四に地域、職域の機関紙をつくるための共通の悩みや、原因の解明に「みいけ」編集部は自らとびこんでこれが解明に当るとともに各地域のブロツクごとに共同デスクを組む努力をなす。

以上の四つの柱を中心に各支部の編集連絡員の協力のもとに最大の努力を払い、今年こそ本当の意味でカユイところに手の届く機関紙にしたいものと思つている。

編集連絡員

宮浦支部　**瀬本　巌**
四山〃　**福島　清人**
三川〃　**立石　武博**
本所〃　**福島　昭三**
港務〃　**吉崎　靈生**
製作〃　**五反田藤夫**

日本代表きまる

舞踊や琴の専門家も

第六回世界青年平和学生友好祭は七月二十八日から二週間モスクワで華やかにくりひろげられるが、この祭典に参加する日本代表団五百名の顔ぶれが最終的にきまつた代表団のうち地方選出は、東京四十六名をはじめ北海道十五名、大阪十三名、新潟十名など四十一都道府県から計二百二十九名。中央選出は、日青協二十六名、労働関係二十五名のほか学生、農民、原爆被災者など計百二十九名。また文化芸術代表は合唱の三十四名を筆頭に洋舞、日舞、音楽、映画、演劇、服飾など計百名。ほかに事務局員が四十二名（うち通訳三十一名）となつている。

この代表団の中にはつぎの人びともふくまれている。

朝倉摂（画家）原卓也（ソヴエト文学者）菊地てい子（宮城会筝曲講師）内田るり子（声楽家）加藤治子（劇団文学座）川尻泰司（人形劇団プーク）木下航二（作曲家）なお、代表団のほかに国際コンクールの審査員としてつぎの四氏が参加する。▽音楽（クラシック声楽）＝関鑑子▽邦舞（民族舞踊）＝花柳寿二郎▽洋舞（パントマイム）＝高田せい子▽映画＝牛原虚彦。

犬はつないで

配布もビクビク

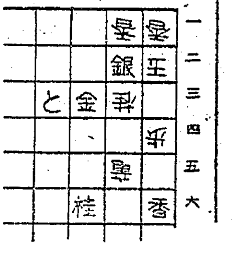
「みいけ」配布はご承知の通り、集団社宅の地域分会の方は、三輪車で配つて家庭でゆつくり読めるようにと配布のスピード化をはかつています。

ところが、さいきん飼犬が各社宅とも増えているところから配布人にカミついたり、ほえたりするので「みいけ」配布者はオツカナびつくりで配布しています。

広はんいな配布先を三輪車で短時間のうちに配布しなければならないので、配布者は三輪車から飛び下りるとカケ足で配布先に投げこまねば間に合わない状態です。

ところが飼犬をつないでないためカケ足で来る配布者にカミつくしまつで、先日もズボンをカミ切られてほうほうのていで引き上げたこともあります。

とくに勝立、万田地区に放し飼いが多くヒヤヒヤしながら配つています。



【ヒント】王方の竜の位置を変える事を考へて下さい。

十分間で十三級位

解答は次回

持駒ナシ

総評、文化

人と懇談

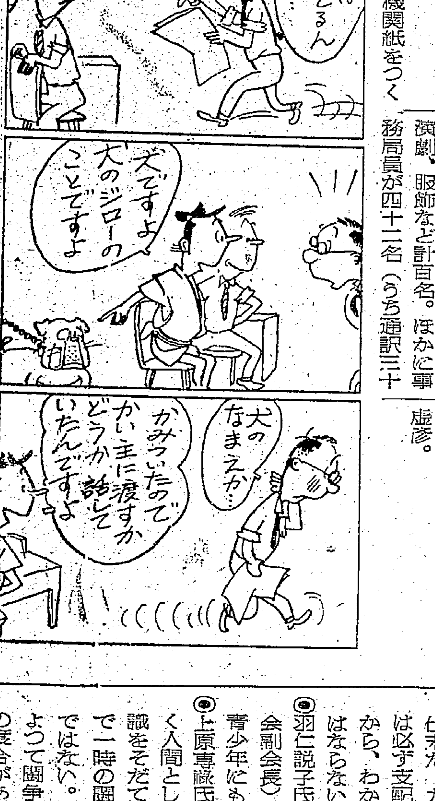
総評は十二日東京芝の郵政会館で文化人十数名を招いて懇談会をひらき、不当処分、マス・コミ対策などについて意見を交換した。つぎは懇談会での発言のいくつか。

◎青野季吉氏（評論家）＝運動方針は農村や漁村の人にもわかるものにしてほしい。文章を平易にするといきおいがなくなるといわれるが、平易ということは理解されることであり、理解されてこそいきおいもでてくるのではないか。

◎久野収氏（学習院大講師）＝外部も必要だがそれより内部の宣伝活動が大事だ。職場大会などに参加する労働者が家庭に帰つて居住の人に聞かれると逃げる仕末だ。大衆はわからないときは必ず支配者の側につくものだから、わからない状態においてはならない。

◎羽仁説子氏（日本子どもを守る会副会長）＝労働者の奥さんや青少年にも働きかけてほしい。

◎上原専禄氏（一橋大教授）＝働く人間としての政治的社会的意識をそだてる操作を永続しないで一時の闘争勝利はできるものではない。その意識のいかんによつて闘争が発展するかどうかの度合があるのだ。


長屋太平記　中村かめお
なにッ ジラード 引渡し…
その問題は もう片付いてるんじゃないか…
犬ですよ 犬のジローのことですよ
犬の なまえか…
かみついたので かい主に渡すか どうか話して いたんですよ